**ベネズエラ定期報告（経済概況　2013年　12月）**

**１　経済概要**

**（１）政府の各種政策・統計**

**●ベネズエラ中央銀行（BCV）は，１１月及び１２月（暫定）のインフレ率がそれぞれ４.８％，２.２％であった旨発表した。**

**●マドゥーロ大統領は，２０１３年のＧＤＰ成長率が１.６％（暫定）になった旨発表し**

**た。**

**（２）政府予算・財政**

**●国会プレスリリースは，２０１４年度の国家予算法案が５,５２６億ボリバル，同借款**

**法案が１,１２７.６億ボリバルにて国会の第二審議においてそれぞれ承認された旨発表した。**

**（３）石油・天然ガス産業**

**●ＰＤＶＳＡの６月末決算によると，上期（1-6月）は，油価が前年同期に比し７％減の１バレルあたり９７.５ドル，原油・石油輸出量は同比１.３％減の日量平均２４８万バレルとなり，売上は前年同期に比し５.５％減の５９１億ドルとなった。**

**●OPECデータによると，１１月のベネズエラ産原油生産量は，前年同月に比し１.６７％**

**増の日量２８５.４万バレルであった。**

**（４）自動車産業**

**●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）によると，１１月の国内自動車生産（組立）台数は，前年同月に比し４７.７％減の４,７０３台となった。この結果，１-１１月の国内自動車生産台数は，前年同期に比し３０.８％減の６９,９６６台となった。**

**（５）その他産業**

**●官報４０３０８号により，ベネズエラ出入国渡航者に対し，官報公布日より１０日以内に海外旅行者保険への加入を義務づける官報が公布されたが，１７日，官報４０３１７号により，発効日を２０１４年１月３１日に修正する旨公布された。**

**（６）外貨発給状況**

**●ベネズエラ中央銀行（BCV）によると，１２月のSICADによる競売実績は，法人向けに**

**は１億８,４９７万ドル，個人向けには１,５９８万ドルであった。**

**２　経済の主な動き**

1. **政府等の各種政策・統計**

**ア　大規模停電の発生**

**２日２０時１０分頃，ベネズエラ中部・西部地域（カラカス首都区，アプーレ州、ア**

**ラグア州、バリナス州、カラボボ州、カラカス、ファルコン州、グアリコ州、ララ州、**

**メリダ州、ミランダ州、タチラ州、トルヒージョ州、バルガス州、ヤラクイ州、スリア**

**州等）において１時間から６時間半にわたる大規模停電が発生した。**

**（3日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，及びｳﾙﾃｨﾏｽ・ﾉﾃｨｼｱｽ紙）**

**イ　自動車生産・販売価格規制及び個人の輸入規則**

**臨時官報６１１７号により，自動車生産・販売価格規制及び個人の輸入規則（大統領令第625号）が公布された。**

**（4日付官報6117号）**

**ウ　不正外貨取引取締法（la Ley contra Ilicitos Cambiarios）の改正**

**臨時官報６１１７号により，不正外貨取引取締法に個人が自動車を輸入し公的銀行を通じて外貨決済を可能とする大統領令第６３６号が公布された。**

**（4日付官報6117号）**

**エ　２０１３年第３四半期製造業稼働率**

**民間経済団体のCOINDUSTRIAによると，２０１３年第３四半期における製造業稼働率は，５６.６４％（第１四半期：５２.４７％，第２四半期：５３.８８％）となった。**

**（4日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**オ　外貨適正利用を調査する特別委員会創設**

**マドゥーロ大統領は，２０１１－２０１３年における公的分野及び民間分野の外貨適**

**性利用を調査する目的で特別委員会を設立した旨発表した。**

**（5日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙及びｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**カ　国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）による貧困調査**

**ECLACによる貧困調査によると，２０１２年のベネズエラにおける貧困率は２３.９％**

**（29.5%），絶対的(極)貧困率は9.7%（11.7%）となった。（）内は2011年調査**

**（6日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**キ　不当解雇禁止令の延長**

**マドゥーロ大統領は，２０１４年１２月３１日まで不当解雇禁止令を延長することを発表した。**

**（7日付ｴﾙ･ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ク　マドゥーロ大統領による貯蓄振興策発表**

**マドゥーロ大統領は，貯蓄振興策として，預金金利１５％／年の設定，個人の国債購**

**入に対しクーポン率を１７％までと設定，子ども向け貯蓄（預金額は月額10租税単位まで）として預金金利１７％を検討している旨発表した。**

**（7日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，及びｳﾙﾃｨﾏｽ・ﾉﾃｨｼｱｽ紙）**

**ケ　製造業界推進策**

**官報４０３１０号により，製造業界を推進させるべく，事務手続き簡素化を図る委員**

**会を設立する大統領令が公布された。**

**なお，本委員会はアレアサ副大統領の所管で３０日以内に設立される見通しである。**

**（10日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**コ　２０１４年GDP成長率見通し**

**・国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）によると，２０１４年のラテンアメリカ・カリブ地域のGDP成長率は，平均で３.２％となる見通しが発表された。**

**なお，ベネズエラは１％の成長率との見通しが発表された。**

**（12日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**・国際通貨基金（IMF）によると，２０１４年のベネズエラのＧＤＰ成長率は１.７％**

**となる見通しが発表された。**

**なお，IMFは２０１４年のベネズエラにおけるインフレ率及び失業率を，それぞれ３**

**８％，１０.３％となる見通しをあわせて発表した。**

**（23日付ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**サ　ベネズエラ政府とアンデス開発開発公社（CAF）の融資合意**

**メレンテス財務大臣とガルシアCAF総裁は，CAFによる電力サービス分野向け３億ドル，**

**主要水道プラント最適化向け１億ドル含め計６億２,５００万ドルの融資の合意に至っ**

**た。**

**なお，２０１３年のCAFによる融資承認総額は１２０億ドルとなった。**

**（12日及び19日付ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**シ　２０１３年米・ベネズエラ商工会議所（Venamcham）実績**

**Venamchamの年次定例総会に基づくプレスリリースは，２０１３年の加盟全企業の売上**

**高は総額４４０億ドル，従業員数は３５万人に達した旨発表した。**

**なお，加盟企業数は１,０５４社であり，そのうち７４％がベネズエラ企業，１５％が**

**米国企業，１１％がラテンアメリカ，欧州，及びアジア系企業となる。**

**（16日付ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**ス　SICADによる外貨供給促進計画**

**ラミーレス経済担当副大統領は，ベネズエラ石油公社（ＰＤＶＳＡ）や原油分野に参**

**入している外資系企業は，外国人旅行者や金の採掘業者と同様に，自社保有外貨をSICADを通じ売却可能とする準備がある旨述べた。**

**なお，２０１４年は，毎週１億ドルをSICADを通じ供給していくこと，優先分野に対しては，１ドルあたり６.３ボリバルの公定為替レートを適用していく旨付言した。**

**（17日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙及びｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**セ　ベネズエラ外貨建てソブリン債格付け引き下げ**

**格付け会社大手スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)，及びムーディーズ・インベスターズ・サービスがベネズエラの外貨建てソブリン債格付けをそれぞれ「B」から「Bマイナス」，「B2」から「Caa1」へ１段階引き下げた。**

**（18日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**ソ　１１月失業率**

**国家統計局（INE）によると，１１月の失業率は前年同月の６.４％に比し０.２ポイント悪化し，６.６％（失業者数：926,599人）となった。**

**なお，就業人口におけるフォーマル及びインフォーマルセクター従事者は，それぞれ**

**５９％，４１％であった。**

**（19日付ｴﾙ･ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**タ　非居住者向けボリバル調達スキーム**

**ベネズエラ中央銀行（BCV）は，２３日から非居住者向けに外貨を売却し現地通貨ボリ**

**バルを調達することが可能なスキームの運用を開始し，為替レートが１ドルあたり１１.３ボリバルとなった旨発表した。**

**（23日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，ｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**チ　２０１３年１１月及び１２月インフレ率**

**ベネズエラ中央銀行（BCV）によると，１１月及び１２月（暫定）のインフレ率がそれぞれ４.８％，２.２％であった旨発表した。**

**また，２０１３年累積インフレ率が５６.２％に達した。**

**（30日付BCVﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ，31日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙及びｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**ツ　中国・ベネズエラ二国間基金への５０億ドル**

**マドゥーロ大統領は，中国・ベネズエラ二国間基金に対し，中国が５０億ドルを寄託した旨発表した。**

**（30日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**テ　２０１３年ＧＤＰ成長率**

**マドゥーロ大統領は，２０１３年のＧＤＰ成長率が１.６％（暫定）になった旨発表した。**

**（31日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙，及びｳﾙﾃｨﾏｽ・ﾉﾃｨｼｱｽ紙）**

**（２）政府予算・財政**

**ア ２０１３年国債発行進捗率**

**財務省によると，１１月２２日時点における２０１３年の国債発行進捗状況は，予算**

**追加承認額を含めた計１,５１９億ボリバルに対し，８８％相当の１,３３０億ボリバル**

**となった。**

**（3日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**イ　ベネズエラ中央銀行（BCV）によるベネズエラ石油公社（PDVSA）向け融資残高**

**ベネズエラ中央銀行（BCV）によると，１１月２３日時点におけるＰＤＶＳＡ向け融資**

**残高は，前年同日に比し１８７.２％増の４,１１２億ボリバルとなった。なお，１０月２５日現在における同残高は，２,７５９億ボリバルであった。**

**（6日付ｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**ウ　２０１４年国家予算の国会第二審議通過**

**国会プレスリリースは，２０１４年度の国家予算法案が５,５２６億ボリバル，同借款**

**法案が１,１２７.６億ボリバルにて承認された旨発表した。**

**（10日付当国国会ﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

**エ　債務サービス支払額**

**ベネズエラ中央銀行（BCV）によると，２０１３年１－９月までの国債元利返済額は，**

**前年同期に比し５８億ドルであった。**

**なお，国会は，２０１４年元利返済予算額を７４億ドルにて承認している。**

**（30日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**オ　国会による追加予算承認**

**・国会の財務・経済開発委員会において，貧困地域開発ミッション（Barrio Nuevo Barrio Tricolor）向け約１３億ボリバル，国防省及びコミューン省向け約３.７億ボリバル，アマゾナス，ララ，及びミランダ州教員向け約１.２億ボリバル等計約２０億ボリバルの追加予算が承認された。**

**（11日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙，及びｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**・国会の財務・経済開発委員会において，国防省け約４億ボリバル，国軍向け約１.５億ボリバル等をはじめとして，計約６.３億ボリバル追加予算が承認された。**

**（18日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**・国会の財務・経済開発委員会において，各市の公務員給与調整向けに約８億ボリバル，大統領府府向けに約１.７億ボリバル，国防省向け約４億ボリバル等をはじめとして，計約１４億ボリバルの追加予算が承認された。**

**（20日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**この結果，２０１３年通年の国家予算の追加承認額は計２,７９９億ボリバルとなり，国家予算累計額は，当初予算額の３,９６４億ボリバルから６,７６３億ボリバルとなった。**

**（2014年1月5日付ｴﾙ･ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙及びｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**（３）石油・天然ガス産業**

**ア　第１６４回ＯＰＥＣ定例総会**

**４日，オーストリア・ウィーンにて第１６４回ＯＰＥＣ定例総会が行われ，ＯＰＥＣ**

**加盟国の現行生産枠３０百万バレル／日の維持が決定された。**

**（5日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙｼ，及びｴﾙ・ﾅｼｵﾅﾙ紙）**

**イ　２０１３年６月末ベネズエラ石油公社（ＰＤＶＳＡ）決算内容**

**ＰＤＶＳＡの６月末決算によると，上期（1-6月）は，油価が前年同期に比し７％減の１バレルあたり９７.５ドル，原油・石油輸出量は同比１.３％減の日量平均２４８万バレルとなり，売上は前年同期に比し５.５％減の５９１億ドルとなった。**

**また，各種ミッション及び国家開発基金（FONDEN）等への拠出額は前年同期に比し４２％減の７２億ドル（FONDEN向けは同比59%減の26億ﾄﾞﾙ）であった。**

**なお，サプライヤー向け債務残高は，１５４億ドル相当であった。**

**（6日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ウ　第２回ＡＬＢＡ・ペトロカリベ臨時首脳会合**

**１７日，カラカスにて第２回ＡＬＢＡ・ペトロカリベ臨時首脳会合が開催された。**

**また，臨時首脳会合に先立ち，ＰＤＶＳＡ本部において，ラミーレス石油鉱業大臣主催による第１２回ペトロカリベ閣僚級会合が開催された。**

**ラミーレス石油鉱業大臣は本会合において，ベネズエラからペトロカリベ加盟国に対する原油輸出量（平均）は，２０１２年は日量１０万８,０００バレル，２０１３年は前年比４.６％減の日量１０万３,０００バレルであった，２００５年にペトロカリベ協定が発効されて以降の加盟国に対する総原油輸出量は２億５,５００万バレル強に上り，これは右加盟国のエネルギー需要の４３％に相当する量である旨強調した。**

**（17日付当国外務省ﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

**エ　インドとの原油生産に関する合意**

**ハウア外務大臣は，オリノコベルト地帯における原油増産に向け，インドと合意に至**

**った旨発表した。**

**（21日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**オ　印リライアンス社及び露ルクオイル社の入札落札**

**ベネズエラ石油公社（ＰＤＶＳＡ）は，印リライアンス社からアルキレート２８８万バレル，及びルクオイル社からのＭＴＢＥ８６４万バレルの購入を落札した。**

**（23日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**カ　２０１３年１１月ベネズエラ原油生産量**

**OPECデータによると，１１月のベネズエラ産原油生産量は，前年同月に比し１.６７％**

**増の日量２８５.４万バレルであった。**

**なお，１－１１月の原油生産量は日量平均で前年同月に比し１.１％減の２７９万バレ**

**ルとなった。**

**（23日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**キ　２０１３年事故件数**

**ベネズエラ石油公社（ＰＤＶＳＡ）のデータによると，２０１３年の爆発・停電・火**

**災・運送船の沈没等の事故件数は３１件に達した。**

**（31日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**（４）自動車産業**

**１１月生産・組立/販売台数**

**ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）によると，１１月の国内自動車生産（組立）台数は，前年同月に比し４７.７％減の４,７０３台となった。この結果，１-１１月の国内自動車生産台数は，前年同期に比し３０.８％減の６９,９６６台となった。**

**他方で，１１月の国内生産車，輸入車の国内販売台数は，前年同月に比しそれぞれ４２.２％減の５,２４４台，７７.８％減の６６８台となった。この結果，１-１１月の国内生産車，輸入車の国内販売台数は，前年同期に比しそれぞれ３０.６％減の６９,８３９台，１９.９％増の２６,０８０台となった。**

**（4日付CAVENEZ発表）**

**（５）その他**

**ア　家電**

**メネンデス産業大臣は，韓国家電メーカーであるＬＧ社とベネズエラにおいて家電生**

**産及び輸入を行う目的で合弁会社の設立合意書の署名に至った。なお，メネンデス大臣は，同合弁会社による生産は２０１４年末には開始される旨発表した。**

**（5日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙及びｴﾙ・ﾑﾝﾄﾞ紙）**

**イ　観光**

**・海外旅行者保険**

**４日，官報４０３０８号により，ベネズエラ出入国渡航者に対し，官報公布日より**

**１０日以内に海外旅行者保険への加入を義務づける官報が公布されたが，１７日，官報４０３１７号により，発効日を２０１４年１月３１日に修正する旨公布された。**

**（4日付官報40308号及び17日付官報40317号）**

**・航空券請求書及び航空券への記載事項規則**

**官報４０３１８号により，航空券請求書及び航空券への記載事項規則が制定され，**

**２０１４年２月１日から個人情報の明確な記載を義務化される旨公布された。**

**（20日付ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**ウ　アルミ**

**グアジャナ開発公社系列会社のAlcasa社の２０１３年アルミ生産量（見通し）は，前年比３６.３％減の３８,０００トンとなった。**

**（30日ｴﾙ・ｳﾆﾍﾞﾙｻﾙ紙）**

**（６）外貨発給状況**

**ア　１２月SICAD競売実績**

**ベネズエラ中央銀行（BCV）によると，１２月のSICADによる競売実績は，法人向け１**

**億８,４９７万ドル，個人向け１,５９８万ドルであった。**

**（9日，16日，23日，及び1月2日付ﾍﾞﾈｽﾞｴﾗ中央銀行ﾌﾟﾚｽﾘﾘｰｽ）**

**（了）**